

ノックン

ロール

Knock Roll に 参加する 8 つのメリット



キミのトビラをノックする。ココロと社会を巻き込む2日間。



1. 愛媛を**ホンキ**で変えたい**人**に出会える!

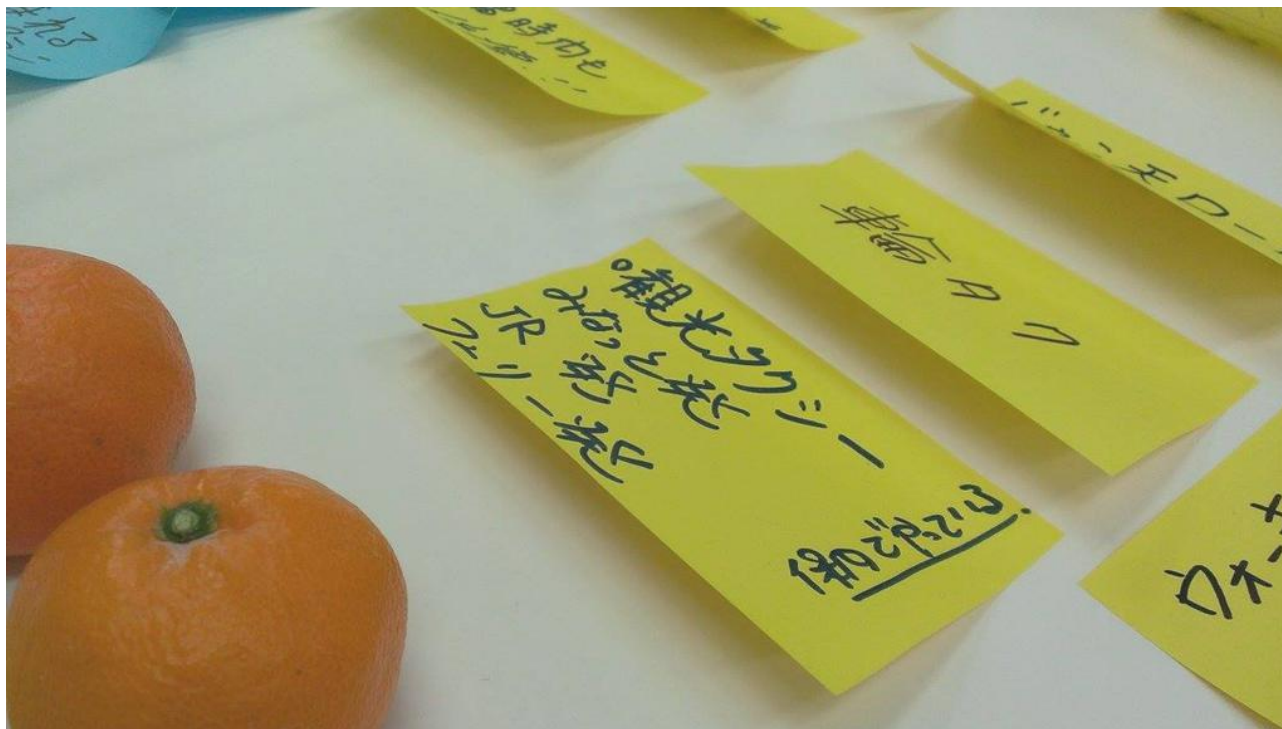


愛媛をより豊かにしていきたいと考える**仲間**に出会えることができます。既に活動をしている人もいらっしゃいますので、普段会社や学校ではつながりにくい人と「横で繋がる」ことができます。

スイーツ交流会・よなよなセッションはじめ、イベント内の至る所にその仕掛けが散りばめられています。このつながりは、イベント終了後も続く**財産**になるはずですよ。



2. プロジェクトの産み出し方を学べる!



本イベントのメイン企画は「プロジェクト**量産**ワークショップ」と「プロジェクト**創造**ワークショップ」です。地域の魅力・課題・ニーズ等を掛け合わせてプロジェクトを量産し、実施可能な**計画書へと落とし込み**を行っていきます。この一連のプロセスを学ぶことで、場所は変わっても、地域の資源を使ったプロジェクトを量産・創造することができます。このKnock n Rollの手法をちょっとだけ盗むことができるのです。



3. 豪華アドバイザーと濃密な時間を過ごせる!



イケダ ハヤト (プロブロッガー)



前田 眞
(NPO法人まちづくり支援えひめ代表)

2日間を通じて企画に関わっていただくアドバイザーとして、**イケダハヤト**氏、**前田眞**氏をお迎えします。お二人の豊富な経験談を聞けるだけでなく、プロジェクトを量産・創造するためのアドバイスを受けることができます。困った時に、すぐに相談に乗っていただけるアドバイザーがすぐそこにいるのです。ひょっとすると、このイベントの中でしか聞けない「ココだけ情報」が飛び出したり、個人的つながりもできるかもしれません。



4. 活動実践者のノウハウが特別に聞ける!



若松 進一
夕日のミュージアム
名誉館長



兼頭 一司
株式会社しまの会社
代表取締役社長



北川 裕子
八幡浜お手伝い
プロジェクトリーダー



甲斐 朋香
松山大学法学部
法学科准教授

2日目の朝は、既に活動されている方のプレゼンを聞く機会が用意されています。これから参加者が創り上げていく・動かしていくプロジェクトに活かせる事例やノウハウを、この機会だけに**特別にご提供**いただくことになっています。

「なぜプロジェクトが成功したのか?」「何に苦労したのか?」などを聞くことができます。



5. 会場外からのアドバイスが受けられる!



泉谷昇

NPO法人
いよココロザシ大学
学長



兼松佳宏

NPO法人グリーンズ
理事
greenz.jp編集長



齋藤隆太

株式会社
サーチフィールド
FAAVO事業責任者



前田 亮斗

トーマツベンチャー
サポート株式会社



中村暖

京都造形芸術大学
1回生

2日目の「プロジェクト創造ワークショップ」では、実際に動くための「計画書づくり」を行います。計画書づくりは慣れていないと、なかなか前に進めることができないものなのですが、インターネット回線を通じて、**県内外在住の外部アドバイザー** 5名のコメントをリアルタイムに受けられますので、よりスムーズに、思いをカタチにしていくことができます。



6. 市長×企業×NPO×プロブロガーのトークライブは必見!



私たちの最終目標は「**第二の名刺を当たり前**に持てる社会をつくること」です。NPO等地域活動を続けていくためには、社会全体として、働き方や生き方を変えていく必要があると考えています。

八幡浜市長大城一郎氏、伊予銀行藤井氏、NPO法人まちづくり支援えひめ前田眞氏、プロブロガー イケダハヤト氏にご登壇いただき、それぞれの立場から、その可能性について、議論を行っていただきます。この豪華なゲストの議論は必見です!



7. えひめのスイーツも味わえてこの参加費はお得!



宿泊・スイーツ交流会を含めた**参加費が5,000円!**

大学生等専門学校生は4,500円、また高校生は4,000円で参加することができます。当イベントに共感いただいたアドバイザーさんたちのご厚意もあり、この価格でご提供することができます。

この贅沢な機会を活かさないで、本当もったいないです!



8. 自分が考えている**プロジェクト**を持ち込める!



もう既にプロジェクトのアイデアを持っている人や、さらに膨らませようとしている人もいるかと思います。そんな人は、ぜひその**アイデアをイベントに持ち込んでください**。ワークショップの流れに沿う必要がありますが、その中でぜひ自分のアイデアも披露していただくこともできます。思わぬところで、他の参加者から共感を得られたり、アドバイスをもらえることも。ひょっとしたら更に素敵なアイデアに膨らみ、急展開していくかもしれません。